

中国地方整備局総合評価審査委員会 第1部会(第12回)開催結果の概要

1. 日時：平成24年3月26日（月） 15:30～17:30
2. 場所：合同庁舎2号館8階会議室
3. 出席委員：

第1部会	会長	今岡 務	広島工業大学環境学部
第1部会	委員	米倉 亜州夫	広島大学名誉教授
第1部会	委員	戸田 常一	広島大学大学院社会科学研究科
第1部会	委員	福田 健吉	(株)日本政策投資銀行 中国支店長

4. 議事次第：

(1) 審査対象工事の全体説明

審査対象工事件数・・・全4件

<件数の内訳>

・評価項目・加算点の審査（公告前審査・・・4件）

表1【標準型（Ⅰ型）】

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
一般土木	-	-	-	1	-	1
計	0	0	0	1	0	1

表2【標準型（Ⅱ型）】

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
PC	-	1	-	-	-	1
鋼橋上部	-	-	-	1	-	1
計	0	1	0	1	0	2

表3【簡易型】

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
維持修繕＋ AS舗装	1	-	-	-	-	1
計	1	0	0	0	0	1

・開札後整理案件・・・4件

表4【標準型（Ⅱ型）】

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
一般土木	-	-	-	2	-	2
計	0	0	0	2	0	2

表5【簡易型】

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
AS舗装	1	1	-	-	-	2
計	1	1	0	0	0	2

(2) 審査対象業務の全体説明

1) 審査対象業務件数・・・全7件

<件数の内訳>

・評価項目・加算点の審査（公示前審査・・・3件）

表6 プロポーザル方式

工種	公募型	簡易公募型	標準型
調査・検討	-	3	-
計	0	3	0

・評価項目・加算点の審査（入札前・特定前審査・・・4件）

表7 総合評価落札方式

工種	総合評価落札方式	
	簡易型	標準型
調査・検討	2	-
計	2	-

表8 プロポーザル方式

工種	公募型	簡易公募型	標準型
設計	-	1	-
調査・検討	-	1	-
計	0	2	0

・履行確実性確認型による開札後整理案件・・・1件

表9 総合評価落札方式

工種	総合評価落札方式	
	簡易型	標準型
発注者支援	-	1
計	-	1

5. 主な意見の概要

(工事審査)

【東広島・呉道路金剛山トンネル工事】

- 覆工コンクリートおよびインバートコンクリートの品質・耐久性の向上に関する施工計画において、視点で「インバートコンクリートに関する工夫」を設定しているが、インバートコンクリートに関する提案であれば、配合や運搬・打設・締め固め等何でも良いか。

→どの視点でも提案出来るというもの。

- 配置予定技術者の能力の項目においては、平成24年度からの運用である担当技術者の加点を設定しているか。

→本件は段階選抜方式を行うものであるが、一次審査時の項目として設定している。従事役職が現場代理人又は担当技術者の場合は、主任（監理）技術者の評定点における審査評価点の1/2とする。

(業務審査)

【平成24年度 管内XバンドMPレーザ雨量精度検証業務】

- 「技術提案書を選定するための基準」と「技術提案書を特定するための基準」はどのように使い分けるのか？

→「技術提案書を選定するための基準」は参加表明者の中から技術提案書の提出者（5者）を絞り込む場合に使用し、「技術提案書を特定するための基準」は5つの技術提案書から1つを特定する場合に使用する。

- 県や市町村での実績は評価の対象となるか？

→同種又は類似業務の実績としては評価の対象としている。ただし、業務成績や表彰実績は評価の対象とならない。

【広島港湾合同耐震その他改修設計業務】

- 従前より評価者数は増えたか？

→従前より建築関係は7名で実施している。なお、土木関係は3名で実施。

その他、評価手法及び評価に関する助言を頂く

◆第12回総合評価審査委員会 開札後整理工事一覧

No.	事務所名	区分	審査対象工事		工事名	工事種別	種別	工事概要	工事の特性 (評価項目設定の妥当性が判断できる工事内容やサイト特性をわかりやすく記載すること)	入札方式		総合評価方式				①施工体制評価点				②施工能力													③配置予定技術者の施工能力			地域			加工			
			評価項目・加算点の審査	技術提案の審査						WTO	入札方式	総合評価方式	地元企業活用促進型	施工体制確認型	不誠実な行為における減点項目	施工体制評価点計①	施工体制確保の確実性	品質確保の実効性	加算点の合計②	高度技術提案型、標準型、簡易型 ①技術提案、施工計画			②企業の施工能力					③配置予定技術者の施工能力			④企業全体の能力	⑤地域精通度・貢献度	⑥地元企業活用	⑦配置予定技術者の資格	合計							
																				評価内容1	評価内容2	評価内容3	加算点	ア)	イ)	ウ)	エ)	オ)	カ)	ア)						イ)	ウ)	エ)	オ)	カ)	キ)	ア)
1	出雲河川	河川	⑩	⑪	斐伊川放水路大津地区河床保護外工事	一般土木	河川構造物	斐伊川放水路完成に向け、分流部に設置している仮締切(L=1,000m、V=105,000m3)を撤去し、根固めブロックを製作・据付(N=3,200)及び護岸工(A=11,430m2)を施工するもの。	既設の鋼鉄板二重仮締切を撤去し、分流部の河床部へ約3,200個の根固めブロックを製作し据付を行うほか、仮締切接続部への護岸工(二次製品)を施工するもの。	一般競争	標準型(Ⅱ型)	○	○	○	85.0	30	15	15	55.0	根固めブロックコンクリートの品質・耐久性向上	25	25.0	6.0	1.0	3.0	1.0	4.0	3.0	1.0	1.0	20.0	5.0	5.0	10.0	1.0	0.0						
2	出雲河川	河川	10	11	斐伊川放水路上塩冶地区河床整備工事	一般土木	河川構造物	斐伊川放水路開削部の工事用道路部を延長1,200mに渡り掘削(岩掘削V=61,000m3)し、河床保護コンクリートを施工(A=31,000m2)するもの。	スレーキングの著しい基礎岩盤部に、掘削後速やかに河床保護コンクリート板(標準:5m×5m×0.3m)を打設するもの。打設するコンクリートは約10,000m3になる。	一般競争	標準型(Ⅱ型)	○	○	○	85.0	30	15	15	55.0	河床保護コンクリートの品質・耐久性向上	25	25.0	6.0	1.0	3.0	1.0	4.0	3.0	1.0	1.0	20.0	5.0	5.0	10.0	1.0	0.0						
3	松江国道事務所	道路	⑦	10	尾道・松江自動車道川尻地区舗装工事	舗装	アスファルト舗装	排水性舗装(車道) A=26,100m2 駐車場舗装 A=6,000m2 排水構造物工 1式 縁石工 1式 道路付属施設工 1式 橋梁付属物工 1式	排水性アスファルト合材は空隙率が高く、温度低下が早いことから、排水性アスファルトの温度管理や温度低下対策等は品質を確保する上で重要である。	一般競争	簡易型(従来方式)	○	○	○	68.0	30	15	15	38.0	排水性アスファルト舗装の品質確保に対する技術的所見	10	10.0	6.0	1.0	3.0	1.0	1.0	4.0	2.0	1.0	19.0	5.0	3.0	8.0	1.0	1.0						
4	松江国道事務所	道路	10	11	尾道・松江自動車道大吉田南地区舗装工事	舗装	アスファルト舗装	排水性舗装(車道) A=15,700m2 擁壁工 1式 排水構造物工 1式 縁石工 1式 道路付属施設工 1式 橋梁付属物工 1式		一般競争	簡易型(実績重視)	○	○	○	55.0	30	15	15	25.0			0.0	6.0	1.0	3.0	1.0	1.0	4.0	2.0	1.0	19.0	5.0		5.0	1.0	1.0						

日時：平成24年3月26日（月）15：30～

場所：合同庁舎2号館 8階会議室

平成23年度 中国地方整備局総合評価審査委員会 第一部会(第12回)

議 事 次 第

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

【工事関係審査】

1) 審査対象工事の全体説明

2) 審査対象工事の個別説明

【業務関係審査】

3) 審査対象業務の全体説明

4) 審査対象業務の個別説明

4. 閉 会